

School Interview!

今、この学校が面白い!

学校紹介



ご利用者役の装着したウェアブルカメラで、介助の様子を撮影し、自身の介助で威圧感を与えていないかななどを検証



白ゆり祭(文化祭)では月刊デイを参考にクラフト作品を制作し、近隣の福祉施設に寄贈

感謝の気持ちを持てる人に 岡山県立 倉敷中央高等学校

学校データ

所在地：岡山県倉敷市西富井1384

T E L : 086-465-2559

学 科：福祉科・看護科・家政科・
普通科(類型・子どもコース・
健康スポーツコース)

※福祉科生徒数(2022年4月)
1年生32名/2年生40名/3年生34名

学校のHPは
こちら!



ここがスゴイ!

「実習決意式」と「ウェルフェアデー」

学びの節目に際し、自分の言葉で
自分の思いを人に伝える

当校では、福祉にかかわる専門職の土台となる心を育むため、学びの節目に際し、自分が今感じていることを言葉で伝え、思いを表明する機会を設けています。それが2年次の長い実習の前に行う「実習決意式」です。

2年生一人ひとりが、本格的に始まる実習に向けての決意や、仲間・先生・家族など自分を取り巻く人たちへの思いを、自分なりの言葉にして全学年の前で表明し、他学年から励ましのエールを受け、決意を新たに実習に臨むというものです。

また、実習先施設やそのご利用者を招待して交流する「ウェルフェアデー」も福祉科主催で秋に開催しています。お世話になっていることへの感謝を示したいと、生徒は毎年意気込んで準備をし、ご利用者の皆さまも楽しみにしてくださっています。

岡山県立 倉敷中央高等学校は、福祉科を持つ岡山県内唯一の高校です。文部科学省の「“スマート専門高校”推進事業」を活用し、体の傾きを測定するモーションキャプチャやミスト入浴ができる浴槽など、最新の設備を授業に導入しています。さまざまな座学や実習を経験し、卒業時には介護福祉士国家試験の受験資格が取得可能です。

今回は、「感謝の気持ちを持てる人に育てたい」という福祉科の教育方針のもと、教科主任として生徒の指導にあたっている福田先生にお話を伺いました。



心が喜ぶ体験をするため、屋外で風景を楽しみながら足浴の実習



正座し、足が踏ん張れない状態を体験する車イス実習

「“スマート専門高校”推進事業」とは?

専門高校における最先端の職業教育のために、デジタル化対応装置の環境整備を推進する事業。



実習決意式の後、本格的な実習が始まる



キャンドルサービスで実習への決意を新たに



ウェルフェアデーでは、招待したご利用者の介助や案内を生徒たちが担当

Teacher Interview!

Q. 教育する上で大切にしていることは何ですか?



相手を大切に思う気持ちを育てることです。ケアプランを立てることに苦心する生徒がいたときは、ご利用者の顔を思い浮かべながら考える第一歩として、「好きな人にお弁当を作るときのイメージで考えてみよう」と声をかけます。すると、少し身構えていた生徒も、「何が好きかな」などイメージを膨らませながら相手のことを大切に考えることができるようになります。

教えて!
福田先生①

特に力を入れていることは何ですか?



A. 「自分の言葉」を引き出すことです

自分の思いを自分の言葉で人に伝えられるようになるため、普段の授業から、ノートの見開き左ページには授業内容をまとめ、その日学んだことを右ページにまとめるといったように、自分の考えや学びを整理して言語化する機会を設けています。そのような取り組みの積み重ねにより、「生徒体験学習発表全国大会」の作文で毎年優秀な成績を残すことができています。



生徒体験学習発表全国大会で最高賞の文部科学大臣賞受賞(2019年)

【倉中のプチ伝統行事】

JKは今しかないよ〜! 応援しています。楽しんでね〜! 24期生より

卒業の日、3年生は4月に入學する生徒に向けたメッセージを自分の言葉でカードに書き、机に残して卒業していく

相手を大切に思う
気持ちを育てたい!
ふくだ ようすけ
福祉科 教科主任 福田 庸介先生

Q. 先生方が意識して取り組んでいることは何ですか?

体験の場づくりです。生徒には高校3年間で心が動く体験をたくさんしてほしいと思っています。そのため、たくさんの行事をする中で、代表挨拶をする生徒を毎回変えています。緊張しながらも、人前で挨拶や発表をする場を経験することで、生徒たちはまた一つ大きく成長した姿を見せてくれます。

入学時には人前でまったく話ができなかった生徒が、3年生最後にステージ上で学年代表として挨拶をする姿を見て、お母さんが驚かれたということもあったんですよ。

教えて!
福田先生②

学びを深めるために工夫していることは何ですか?

A. 各種コンテストへの挑戦です

日ごろの学びの成果を発揮するため、「全国高校生介護技術コンテスト」や「おかやま介護グランプリ」などの各種コンテストに毎年挑戦しています。

根拠に基づいた適切な介護技術ができているか、ご利用者に配慮した声かけや表情ができているかなど、総合的に審査が行われる中で、緊張を感じながらも輝かしい成績を残しています。



全国高校生介護技術コンテストでは2位にあたる産業教育振興中央会会長賞に輝いた(2019年)



おかやま介護グランプリでは介護現場チームを抑えて総合優勝(2021年)

Student Interview!

お刺身が
好き!

やまもと ななみ
山本 奈南さん(3年生)

「先入観を持たない」ことの大切さを実習で実感しました。利用者さんの世界観の中で一緒に笑える介護福祉士になりたいです。

しょうゆ
ラーメン!

たぐち けいと
田口 慶人さん(3年生)

「私はもう終わり」が口ぐせになっていた方が、実習最終日に「来週まで生きたくなった」と僕に言うてくださり感動しました。

Q.
実習で一番
心に残って
いることは?

好きな
食べもの
教えて〜

好きな
食べもの
教えて〜

メロン
です!

わたなべ かな
渡辺 佳菜さん(2年生)

初めての实習の際、オムツ介助に挑戦して失敗してしまった私に、利用者さんが「上手だったよ」と声をかけてくださって感激しました。

お肉なら
何でも!

さとう わかな
佐藤 和奏さん(2年生)

浴衣を着たことがない私に、利用者さんが着付けをしてくださり、ご自分の孫のように思っで喜んでくださったのがうれしかったです。